

挑戦の伴走者に、
熱意のつなぎ役に



G-net

NPO 法人 G-net

Annual Report

年次報告書
2019-2020

挑戦の伴走者に、 熱意のつなぎ役に

代表・副代表挨拶



代表理事 南田 修司

COVID-19の感染拡大により、たった数ヶ月で社会や地域の景色が変わった。これまでの当たり前が揺らぐ中、今この瞬間に我々が担う役割はなにか？ G-netは、挑戦者として地域の中で率先して試行錯誤を続けていきます。

「人を集める」から「人が集まる」へ。

この数年来、取り組みの軸にはいつもこのキーワードがあります。自分たちや地域自身に、いつも「それだけの価値があるか？」という問いを向けられている自覚を持っていたいという意志でもありました。そんな中Covid-19の感染拡大は、G-netに対してさらに鋭利な問いを投げかけてきたように思います。大事なことは何か？変わってはいけないことは何か？変わらなければいけないことは何か？

2020年の3月から全ての取り組みをオンライン化し、この状況下でできることや必要になるであろうことに前もって着手するよう取り組んできました。結果的には慣れない環境下での取り組みとなったため、パートナーの皆様にもご迷惑もたくさんおかけしたと思います。申し訳ありません。

一方で、試行錯誤の結果、これまでにない地域と人の可能性も感じることができました。オンラインを活用したハイブリッドな仕組みを地域に整えていくことは、地域と人の関わり方をさらに多様にし、これまでにない繋がりを創出していきます。こうした動きは、地域の様々な課題解決やパートナーの新たなチャレンジの推進にも間違いなく役立てると実感しています。

変化し続ける地域の中で、G-netとして何を考え、何に取り組むのか。ひとりひとりのパートナーの皆様と共に熟議し、チャレンジを続けていきます。引き続き、どうぞよろしくお祈りします。



副代表理事 田中 勲

G-netは来年で20周年となります。私は歴史のちょうど半分ほど関わらせてもらっていることとなります。この1年はインターン、ミギウデ、ふるさと兼業それぞれの事業を統合すること、そして事業の統合だけでなく事業部を解体し、誰もが全ての事業に関わる体制づくりも行いました。我々にとって大きな改革を2つ同時に行ったことによって、この1年では思い描いていた成果や結果を出し切ることができず、共に取り組みをいただいている企業様を中心に、皆様にはご迷惑とご心配をお掛けした部分があったかと存じます。しかしながら、2つの大きな改革を同時に行ったことで明確になったこともありました。個々のパフォーマンスを最大化するために周りがどう手助けをすると良いのか、自身はどこで存在感を発揮すると良いのかなどがクリアになり、そしてその明確化によって個々コーディネーターとしての成長などが見られました。

20周年に向けて、G-netはフェーズ4に入っていくのだと考えています。この1年大きく動いたことがG-netの進化に繋がっていくと信じています。どうぞこれからもご指導ご鞭撻のほど、そして応援をよろしくお祈り致します。

CONTENTS

| | | | | |
|------------------------|---|-------------------------|---------------|----|
| 代表・副代表挨拶 | 2 | 事業報告 | ● インターンシップ事業 | 10 |
| G-net Mission / Vision | 3 | | ● 就職・採用支援事業 | |
| G-net History | 4 | | ● プロボノ・兼業支援事業 | |
| 2019→2020 Topic | 6 | Alliance Partner | | 13 |
| Model Case | 8 | Partner Message | | 14 |
| G-net のプログラム卒業生の活躍 | 9 | 会計報告 | | 15 |
| | | Alumni Message/ ご支援のお願い | | 16 |

G-net Mission

私たちの使命

地域産業の経営革新と、担い手となる右腕人材の育成に取り組み
地域活性を支える事業を輩出し続ける

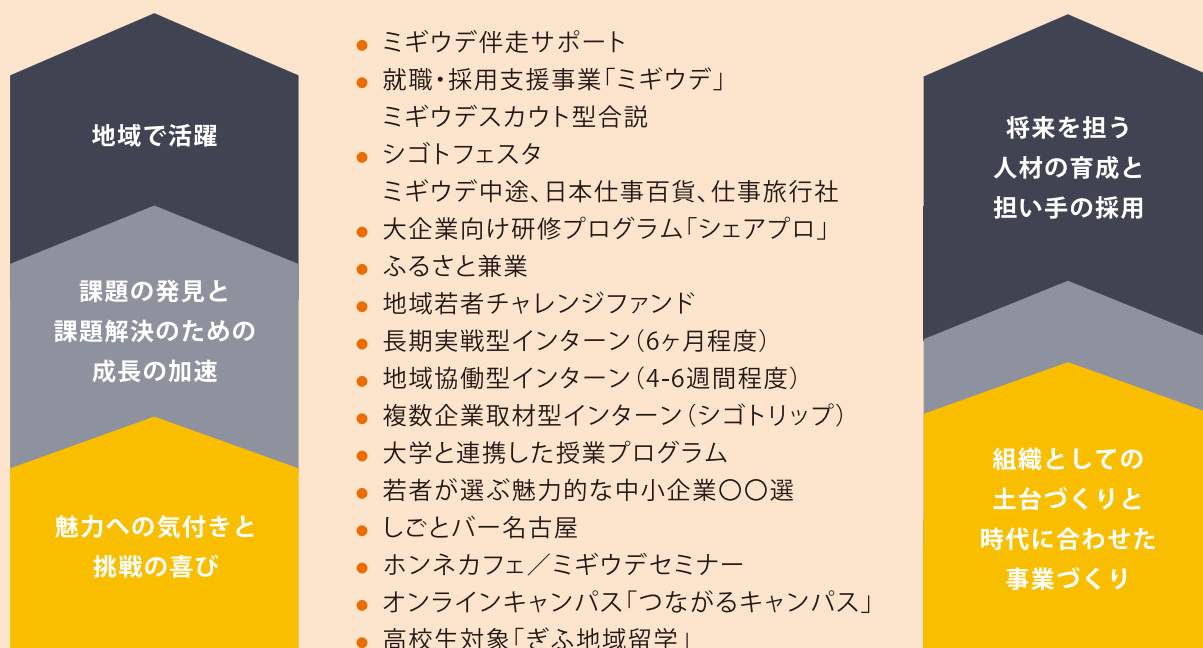
G-net Vision

私たちの目指す社会

誰もがチャレンジを保証され、支え合うことができる
そして、挑戦が評価され、連鎖する社会の実現を目指す

G-net が考える地域活性には、地域の当事者となる人材の育成と活躍するフィールドとなる産業の活性が欠かせない。しかし、ひとつ一つの成長や変化を実現させる絶対的な解はなく、時代や環境の中で常に変化を続けている。そのため、大切にしたいことは『常に挑戦的である』こと。このまちの挑戦の絶対数を増やし、挑戦の精度が高まるコミュニティを構築することで、変化や成長を実現できる地域づくりを目指していきたい。そして、地方都市岐阜から始めることで、他地域や社会全体に波及させていく。

G-net の取り組む打ち手



事業のポイント

- ① 人材が育まれる、生産性が最大化できる組織作り
- ② 挑戦的なフィールドを開拓し、成長できる機会提供
- ③ 自身の当事者へ、そして社会の当事者へと成長できるコミュニティづくり
- ④ 共感を呼ぶ事例を創出し、挑戦を誘発する仕組み作り
- ⑤ 成果にコミットし、多様な組織と共創できるグランドデザイン

G-net History

第1フェーズ

主体者としてのG-net/期間限定団体(6ヶ月)として立ち上げ

『03』 NPO法人格を取得

『01~04』 カウントダウン



年越しイベントを開催。
岐阜が面白い・・・

『01~』 トークライブ



全国から挑戦者を岐阜に招聘。
チャレンジ精神の伝播。

『02~07』 ビーンズフェスタ



挑戦する夢の豆が集まる年に
1度の祭典。

『03~07』 フリーペーパー



ORGAN/Beans!の発行
チャレンジする人取材し若者へ

第2フェーズ

伴走者としての挑戦/まちづくりからひとづくりへのシフト

実践型インターンシップ/UIターン支援事業

経産省/チャレンジコミュニティ創成事業採択 『04~06』

『04~』 『ホンキ系インターンシップ』事業スタート

『10~』 『地域協働系インターンシップ』事業スタート

『13~』 『複業企業取材型インターンシップ』事業スタート



インターンシップフェア

10人程度から始まったフェアも
100人を超えるイベントに

『07』 岐阜大学等授業開始

『08』 ノウハウ移転事業 開始

東紀州地域 『08~』 岡崎市 『12~』

『10』 地域若者チャレンジ大賞受賞

『13』 岐阜信用金庫/百五銀行事業提携

『14』 CD 養成講座を他機関向け開始

『14』 名古屋学院大学現代社会学部連携

『15』 飛騨信用組合事業提携

『16』 中小企業経営革新賞受賞

『16』 名古屋商科大学連携協定締結

『18』 内閣府地方創生インターンシップ推
進委員就任

創業支援・中間支援事業

経産省/創業支援フォーラム・創業塾開催 『06』

『07~09』 インキュベーションオフィス『かけたす』

『08~』 プラザ工業協賛『東海若手起業塾』スタート

『13~』 岡崎ビジネスサポートセンター『OKa-Biz』



東海若手起業塾

ボードメンバー、事務局、伴走コー
ディネーターを担当



OKa-Biz

創業者、秋元祥治がセンター長に
就任。行列のできる経営相談所に

経産省「新連携地域資源活用プログラム」等採択(06~)/経営力向上に向け理事会改組 外部理事を招いた組織運営にシフト(09~)/東日本大震災復興支援活動(11)/みちのく復興インターンシップに参画(12)/岐阜大学「学生ラボネット」立ち上げに参画(12~)/ゴールドマンサックス中小企業経営革新プログラム(14)最多採択

第3フェーズ

伴走からコミュニティづくりへ/地域産業の経営革新と右腕人材の育成へ

就職採用支援事業(ミギウデ事業)

中小企業の右腕に特化した就職採用支援事業をスタート

『15』 中小企業庁『UIターン人材拠点事業』採択

『16~』 中部経済産業局「中部地域における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」採択



『12~』 岐阜中小企業と若者就職白書1,2号発行

『13~』 オモシロ中小企業 26 選、若者が選ぶ魅力的な中小企業 100 選発行

『14』 グロービス経営大学院名古屋校と連携した社会人向けプログラム

『15』 地域中小企業に特化した合説「シゴトフェスタ」を開始

『17』 一般社団法人地域・人材共創機構が事務局を務めるCareer forに参画

プロボノ・兼業支援事業(ふるさと兼業事業)

都市部と地域を繋げる社会人向け事業をスタート

『18~』 富士ゼロックス株式会社の研修受入(シェアプロ2期)

『19』 フリーランスパートナーシップアワード2019エージェント部門大賞受賞(掛川逢香)



『15~』 日本仕事百貨、大ナゴヤ大学と連携し「しごとバー名古屋」開始

『17~』 社会人インターン「シェアプロ」開始

『18~』 中部経済産業局の事業受託に伴い「新しい働き方会議」を開催

『19』 飛騨市、岩倉市と連携し、地域内でのふるさと兼業の導入を開始

地域若者応援ファンド「Beans Fund」の新設(12~)/若者と企業と地域のための研究所設立(12)/他機関との事業連携を加速/日本仕事百貨(12~)/楽天株式会社地域活性化グループ(15~)/クラウドファンディングで支援を受け事務所を改装・コワーキング化(15~)/LGBTフレンドリーな組織作りを目指し社内規定を改定(16)/仕事旅行社(19~)

第4フェーズ

地域の新たなモデル創出へ／人材と企業のトータルコーディネート

個々のサービス提供から地域企業に寄り添う一気通貫型の伴走支援サービスへ移行し、企業課題を起点とした総合的な人材支援、組織開発支援を開始。また、年齢や立場に関係なく多様な形態で地域と関わることができるプラットフォーム運営に着手。全世代対応型の人材キャリア支援を本格化。

年間伴走型企業支援事業

多様な人材活用を通じた、企業課題に寄り添う支援事業をスタート。
インターンシップやミギウデ、兼業などの多様な人材活用をハイブリッドで提供する形態を本格化。

- (19) 就職採用支援事業とインターン事業を統合。年間を通じて個別支援する「年間伴走支援」を開始
- (19) 一般社団法人ONEXとの協業開始 コーディネートの仕組み化に着手
- (19) 一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会と提携し、兼業・プロボノ向け賠償責任保険付き福利厚生サービス「ベネフィットプラン」提供開始
- (19) インターンシップに限定しないプロジェクト型マッチングイベント「カケタス」スタート
- (20) コロナ禍にいち早く対応できる体制作りのための中小企業向けリモートワーク導入相談窓口を開設
- (20) 中部経済産業局の事業受託により「多様な人材活用ガイド」リーフレットを制作



立場や年齢を超えたキャリア自律支援事業

高校生、大学生、社会人などの年齢における棲み分け、地域内、地域外などの拠点における棲み分けなど、これまで当たり前に区別して取り組まれていた事業も統合に向けて動き出しを開始。年齢や立場、住居や環境に左右されず、地域に関わることができる全世代型キャリア自律支援の取り組みへ。

- (19) 一般社団法人地域人材・共創機構が発行するローカルキャリア白書vol-1,2にCareerfor参画団体として協力
- (20) 高校生向けローカルリーダー育成プログラム「ぎふ地域留学」開始
- (20) インターンシップとふるさと兼業のノウハウを活かし、大学生の新たな働き方モデル「学生兼業」を試行開始
- (20) コロナ禍の影響を受ける若者を支援するオンライン上の仮想キャンパス「つながるキャンパス」開校
大手企業や地域NPO等100人の社会人が高校生や大学生350人をオンライン上でサポート
- (20) ミギウデ事業を通じて支援してきた人材のコミュニティ「ミギウデたちのslack」を立ち上げ



2020年度は、更なる地域にとっての試行錯誤に挑戦

- 1 コロナ禍でも多様な関わりシロが提供できるオンラインを活かした人材活用の土壌開発
- 2 組織を超えた横断的なチャレンジに人が集まる“プロジェクト”が起点となるモデル開発
- 3 病気や障がいがあっても働ける、子育てや介護と両立して働ける、多様な人材が能力を発揮できる、チャレンジできる仕組みを開発

社会変化を見据え、最速で挑戦・実践することで、地域全体の新たな生態系作りに貢献していく

この1年もG-net 社内外で色々なことがありました。
ここでは、その一部をご紹介します。

● ミギウデ 100 名入社、slack でのコミュニティ化へ



2012年構想開始、2014年プロトタイプの仮説検証、そして2016年に本格始動したミギウデ事業。意欲ある若者と挑戦する地域企業が繋がり、2020年4月入社で36社100名のミギウデ誕生となりました。

愛知県の大学生がおおよそ20万人、岐阜県の大学生がおおよそ2万人いる中で、就活生の人数を考えてみても、そこから100名の入社という数字は決して割合としては大きな数字ではありません。しかし、意欲高く意志をもって地域に参画した100名のコミュニティとみると小さい数字ではないと思います。この100名が切磋琢磨し合うことができ、コミュニティとして地域のチャレンジを後押しすることができれば、地域企業は大きく前進をすることができると考えられますし、地域のイノベーションも加速していきます。また、そういった切磋琢磨やイノベーションを創発するための仕掛けとしてSlack上でのオンラインコミュニティもスタートしました。

この100名が500名、1000名となるように、ファーストキャリアで地域中小企業のミギウデになりたいという新卒生が多く生まれるように、そしてそれが地域をつくっていくことに繋がっていくよう引き続き尽力していきます。

● 全国 21 団体の地域パートナーと共に 94 件のプロジェクトと 164 人の兼業事例を創出



ふるさと兼業立ち上げから2年、2019年度は全国で94件の兼業・プロボノプロジェクトが生まれました。人材ニーズは高まっており、登録者は2000人超、年間で555名がエントリー、87件に164名がマッチングしています。これまでにない多様な経験をもった人材が地域企業に飛び込み始めた1年となりました。

こうした流れは、今後さらに加速し、やりたくてもできない受入機会が不足する状況になっていきます。また、副次的な成果として、外部人材活用は多くがリモートでの参画となるため、受入企業のオンライン対応が進み、場所に囚われない働き方や新しい地域とのつながり方ができる環境が出来つつあり、結果として企業の柔軟性を高めることに繋がっています。

2019年には、社会人からスタートしたふるさと兼業の動きを学生に拡大する試行錯誤を始めました。新たな学生と地域の関わり方の提案として既に全国各地の大学生と地域企業のマッチング事例が生まれ始めています。

web site >>



● カケタス オンライン開催・リモートでのマッチングに挑戦



web site >>



マッチングイベントのオンライン開催に、全国に先駆けて挑戦。

これまでの実践型インターンシップだけでなく、業務委託型やリモート参加可能なプロジェクトの募集を始めました。大学の授業や学外活動の制限がかかる中、リモートで関わることの魅力を感じる100名の学生が、全国20都府県から参加。これまでにないエントリーが生まれています。既に地域に携わった経験のある学生が、得意技を活かして地域企業の戦力になりたいと手を挙げ動き始めることで、これまでにないマッチングが生まれ、新たな学生と地域の関わり方の可能性が見え始めています。また、意欲的な学生に対してオンラインでも深く携わるプロジェクトを示すことが、地域企業にとってもこれまでにない起爆剤になりうる、そんな可能性を感じるモデルが形になりつつあります。

● 地域とつながるオンラインキャンパス「つながるキャンパス」開校



web site >>



Covid-19の影響で多くの大学が2020年4月からオンライン授業を開始し、当たり前だったキャンパスライフの多くが制限されています。こうした中でも学生たちが、“人や地域とつながり共に学びあえる場”を作ろうと、オンライン上の仮想キャンパス「つなキャン」をオープン。コロナ救済措置として全国から協力団体を募り、構想から10日後にリリース、現在キャンパス登録者は354名（内、高校生を含む学生は262名）、協力機関・個人は100名となりました。

サークル活動から地方創生に取り組む地域仕掛人との対談イベントなどのオリジナル企画は開設4か月で約30件生まれしており、自身の企画をつなキャンで発信する学生も多く、交流は100以上になります。学生へのキャリア支援など、距離や組織、立場を超えた交流を生むプラットフォーム作りが進んでいます。

● 高校生向けローカルリーダー育成プログラム「ぎふ地域留学」が始動



web site >>



大学進学や就職など20代の県外流出が続く岐阜の課題に向き合うため、高校生をはじめとした若者が大学や社会に飛び出す前に、G-netが自信をもって届けられることができる地域のポテンシャルに出会うプログラム「ぎふ地域留学」を開始しました。“岐阜の最前線”をフィールドに、挑戦する人や企業、文化に出会い、地域に埋もれた魅力や課題を発見する機会の提供を通じて、まちのポテンシャルを実感してもらうことを目指しています。フィールドワークや企業経営者へのインタビューなどの学びと、生徒たちの課題意識から取り組むマイプロジェクトの設計に挑むプログラムや定期的なオンラインを活用した地域との交流などを実施しています。

地元に対する関心や意欲ある若者が、地域や社会の抱える課題に当事者意識をもち、ローカルリーダーとして動き始めるきっかけを今後も増やしていきます。

Model Case

株式会社エネファント



**熱量高い人材を「集める」から「集まる」組織へ。
地域エネルギーを扱うローカルベンチャーが、
インターン・兼業者等のスポット人材登用と、
共感値の高いミグウデ新卒人材の採用で事業が大きく加速**

(’16~) ミグウデ導入、2名の新卒ミグウデ人材採用
(’20~) ホンキ系インターンシップ導入1名

経営者コメント



我々の様な地域の中小ベンチャーにとって新卒の採用はとてもハードルを高く感じていました。学生との接点の作り方、学生へのアプローチの仕方、そして入社後のフォローなど、社内で人事担当を置かなければできないことを、G-netさんと共に採用活動することでクリアすることができました。最初は失敗した年もありましたが、諦めず一緒に応援してくれました。今では我々のビジョンに共感してくれた若者が入ってくれ、社内も活気づいています。これからも頼りにしています。

具体的取り組み

- 1 過去の採用の失敗から、若者が面白いと思える新規事業を開発。
- 2 入社後1年間で何を担当するのか明確に提示した求人シートを作成し採用活動開始。担当事業と事業スキーム、担当業務内容を中心に説明し、事業内容に理解度のある人材を選考に繋げる方針を設定。
- 3 2020年4月からは愛知県から2名の若者が多治見市へ移住し活躍中。
- 4 兼業人材等外部人材を積極的に活用し、時代の変化に合わせた柔軟な組織づくりと事業推進に着手。すでにこれまで4名の外部人材と事業を実施。

ひだまりほーむグループ（株式会社鷺見製材・株式会社 WOODYYLIFE）



**学生・社会人の社外人材とともに進めることで、
緊急度は低いが高重要度の高い案件に着手し事業が推進。
ビジョンや価値観を共有するひだまりサポーターとともに
新プロジェクトに次々と挑戦していく**

(’14~) ミグウデ導入 / 3名の右腕人材採用
(’15~) ホンキ系インターンシップ導入 / 2名
(’19~) 兼業導入 / 3名

経営者コメント



企業は人なりという言葉があるが、まさに今この時代に重要なことと思う。人＝社員の「個の力」を最大化することが大事で、我々企業はそこを高める学びや経験を提供する必要があると感じている。しかし、社内だけで出来ることは時間的にも限られることから外部パートナーの存在が重要。私にとってG-netは理解者であり、パートナーである。夢を共有し、課題を認識し、共に解決し成長して行くための大事な存在である。

具体的取り組み

- 1 事業を推進していくにあたり、社内に不足しているノウハウやリソースを明確にし、スポットで関わる社外人材を募集。
- 2 兼業ではひだまりほーむの想いに強く共感した社会人3名を採用。経営陣にも付かない参画を通じて経営方針の中核でもあった「ブランドの再構築」が形になった。
- 3 実践型インターンで接点のあった低年次学生にも新卒採用の説明会を開放、希望があれば選考も受けられるようにし、最終選考切符を渡すという新たな事例が生まれた。

G-netのプログラム卒業生の活躍

伊東大地 さん
有限会社大橋量器 営業部



1994年大分県出身、愛知県立大学卒業。観光や地域住民を巻き込んでのまちづくりに参画できること、自身のアイデアを活かせる可能性に惹かれ、大手企業の内定を辞退し大橋量器への入社を決意。

**入社2年目から
プロジェクトリーダーとして
新たな事業展開を牽引**

G-netとの縁を一言で

自分を一段高く跳ばせてくれるジャンプ台

入社後間もなくから、トレンドを捉えた新商品開発を次々手掛け、これまでのメディア掲載回数は約20回。2年目には「MASPACIO」（柾の内装材ブランド）のプロジェクトリーダーとして、社外人材を巻き込みながら新規事業を立ち上げた。コロナ禍においても、クラウドファンディングやファンコミュニティ作り、時代に対応した商品開発など、企業の未来を見据えた取り組みを展開し続けている。

大谷真奈美 さん
船橋株式会社 事業企画室



1995年北海道出身、南山大学卒業。シゴトフェスタ・ミギウデスカウト型合説にて、名古屋の老舗合羽メーカーである船橋株式会社と出会う。入社3年目に、新設の事業企画室に配属。

**新規事業を担う
事業企画室にて、
社長のミギウデとして活躍中**

G-netとの縁を一言で

「ミギウデ」という新しい生き方に出会った場所。

新規事業立ち上げや商品開発、それに伴う外部人材の受け入れ、新卒採用活動、ネット販売等、多様な事業に主担当として関わる。また、コロナ禍の中、医療従事者へ届けるために、協力機関と有志連合を結成し、コロナ感染防護ガウン量産の立ち上げメンバーとして奔走中。新聞やTVなど、多くのメディアからも注目されている。

並河征之 さん
株式会社日本温浴研究所 本部長



1991年岐阜県出身、名古屋市立大学卒業。愛知県の物流系コンサル会社でのインターンを通じて自身の仕事観に変化が生まれ、地域の中小企業である日本温浴研究所に就職し、各務原に移住。

**地域文化を支える
中小企業の中核を担う
ミギウデ人材として活躍中**

G-netとの縁を一言で

大人になってもコロナ禍でも一緒に飲んで真面目な話がしたいと思える人との出会い

入社1年目で商品開発を担当し、広報・販売・クラウドファンディングなども経験。現在は運営する温浴施設の支配人と本部長を兼任し、Eコマース事業も含めた企画運営・人事・広報・メンテナンスなど幅広く会社全体をフォローしている。

インターンシップ事業

目指す方向性

インターンシップや学生兼業等のプロジェクト単位で参画できる選択肢の多様化と、品質基準を設けた高品質プログラムの岐阜発モデルの推進

オンラインも積極的に活用し、全国各地から若者が参画できる土壌を耕し、挑戦する企業と若者の多様な関わりを創出することで、新たな産業支援、人材育成の仕組みを生み出す。

ホンキ系インターンシップ事業のこれまで

フェーズ1

企業と学生のwin-winを考える「ホンキ系インターン」

採用直結ではない企業課題解決型の実践型インターン「ホンキ系インターン」。地方随一の実績とホンキ系をモデルとした他地域での導入支援などを実施。時代変化に併せて、新たなモデルを試行錯誤し始める。

インターン参加学生

延べ **813** 名

メディア掲載数

10 件

※インターンシップを起点とした数



フェーズ2

教育的効果の高いキャリアプログラムとしての開発とインターン市場への啓発

玉石混濁でレッドオーシャン化するインターン市場に向けて、インターンシップの品質基準を制定するための取り組みを開始。※チャレンジコミュニティプロジェクト等と連携
内閣府の地方創生インターンシップの推進委員に就任し、民間レベルと国レベルのそれぞれのフェーズで議論を深める。

研修等の
プログラム参加大学

31 大学



年間キャリア面談数

525 回

フェーズ3

ミギウデ・ふるさと兼業と連動したトータルコーディネートへの展開

リモート対応などコロナ禍の状況に対応したプログラムを展開、大学生と地域企業の関わり方を多様にし、新たなモデルを試行。ミギウデやふるさと兼業と連動した柔軟なコーディネート体制へ。



採用支援導入企業の
インターンシップ
併用率

16～20卒

44%



ミギウデ就職者の
実践型インターン
参加率

16～20卒

28%

2020年度からの取り組み

- 1 インターンシップの品質基準が地方創生インターンシップの手引きにも掲載。インターンシップの運営においても本格的に導入を開始。また、継続して地方創生インターンシップ推進研修会・推進会議等で議論を継続し、国や民間連携での基準づくりを加速。企業や学生にとって質が保障されるような体制を整えていく。
- 2 大学入学前に、地域企業の魅力や課題に出会う高校生向けプログラム「ぎふ地域留学」を本格的な運用へ。オンラインを活用し、定期的にU18世代が地域と関わる仕組みづくりを進めていく。
- 3 コロナ禍の影響で、実地型インターンシップだけでなくリモート型や兼業型プログラムへと領域を拡大。プロジェクトをベースに、オンラインであってもwinwinを生み出せる仕組み作りを模索していく。兼業型などプログラムの幅を広げることで、研修から仕事まで多様な形態で地域と関わる事が可能な体制を整える。

就職・採用支援事業（ミギウデ事業）

目指す方向性

人と企業とが対等なパートナーとして互いを尊重し、学びあい、磨きあえるコミュニティを作ること、柔軟で多様な就職・採用の形を地域に生み出す。
挑戦する地域企業と意欲ある人材のコーディネートを通じた、地域や社会の課題解決と新たな価値創出の推進

ミギウデ事業のこれまで



2020年4月で、マッチング数は累積100名に。また、ミギウデ初となる合同内定式を開催するなどコミュニティ作りを強化。意欲ある人材が地域中小企業へ入社し、縦・横・斜めに繋がり、地域の新たなモデルとして活躍し始めている。

※21卒の見込み数含む
※直接コーディネート件数のみ



従業員100人未満の企業の3年定着率は60%と言われる中、80%と高い定着に繋がっている。事業開始後全体でも78%が定着しており、質の高いマッチングを実現している。

※14卒～18卒入社
※平均従業員数は77名



社長のミギウデという働き方を選択する学生もいれば、大手企業、ベンチャー企業、公務員など、キャリア自律に向けての様々な選択をG-netでは支援しており、その納得度は非常に高い。納得感あるキャリア形成を支えることでミスマッチを減らし、結果として、高い定着率へと繋がっている。



COVID-19で交流が難しくなる中、いちはやくオンラインに対応し、継続した出会いの機会を創出。全国各地から繋がれる仕組みに。

※15卒～21卒の大学生と企業とのイベントでの総交流数(概算)

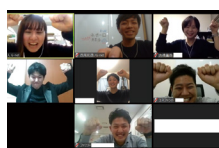


地域企業への就職ありきでなく、キャリア自律を主軸としたキャリア支援、就活伴走支援を実施。低年次からプログラムに参加し、早期に選考を受ける事例も出ている。



採用戦略設計からマッチング支援、その後の定着や研修サポートなど伴走した企業数。採用だけでなく、組織開発にまで踏み込んだ支援を実施。

「ミギウデたちのSlack」オープン!



ミギウデ企業に入社した社員に限らず、ミギウデで就活をしたOBOGたちが集うオンラインコミュニティ「ミギウデたちのSlack」。地域内外に関わらず、同じ価値観でキャリア選択をしてきた仲間同士が繋がること、共に学び、交流する機会を創出していく。新たな気付きやイノベーションが生まれる場となるように運営を開始。

2020年度からの取り組み

- 1 【地域中小企業での通年採用モデル作り】
就活スケジュールが廃止・形骸化する中、地域の中小企業が、人が“集まる”企業に変化していくため、G-netならではの通年型の人材活用モデルを作っていく。単なる早期採用（青田買い）ではなく、企業と若者の接点を多様化し関わりシロを広げることで、企業と若者の学びあいや交流を生み出し、長期的な関わり合いから就職採用へとつながる形を模索する。
- 2 【地域中小企業のプロジェクト型採用webの公開】
G-netが自信を持って紹介できる挑戦する中小企業のプロジェクトを掲載するwebサイトを立ち上げ、人材や大学、それぞれが安心して探せる、魅力を感じる地域企業情報の発信をスタートする。

プロボノ・兼業支援事業（ふるさと兼業事業）

目指す方向性

誰もが、立場や置かれた環境に左右されずに、愛着ある地域や事業に参画できる環境を作り、新たな地域作りの土壌を生み出す。

また、全国各地のNPO等と連携することで、日本中の地域と人材を繋ぐ地域密着型兼業プラットフォームを構築する。

地域中小企業と都市部の若者を繋げる兼業マッチング支援「ふるさと兼業」

2018年9月の開設以来、連携地域を拡大し、順調に事業が拡大。立ち上げ1年半で、北海道から鹿児島まで全国各地で130件の兼業プロジェクトを募集、200人超のマッチングが生まれている。

2019年度は昨年度と比較すると、エントリー数、募集プロジェクト数ともに3倍近くに拡大、その状況化にありながらマッチング率は92%と高い実績に繋がっている。

また、コロナ禍の影響もあり、登録者数も順調に増加し、地域のプロジェクトが掲載されるとすぐにエントリーが集まる状況へと成長。大手企業若手有志からなる一般社団法人ONEXとの協業や、一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会が提供する副業・兼業・フリーランス人材の一括問合せサービス「求人ステーション」に参画するなど、質の高い事業運営のための仕組み作りを進めている。



| | | | |
|-----------|-------------|---------|--------------|
| エントリー人数 | 555名 | 地域パートナー | 21団体 |
| 掲載プロジェクト数 | 94件 | 登録者数 | 2100人 |
| マッチング率 | 92% | マッチング人数 | 164人 |

2019年度(2019年6月~2020年5月)の実績



2020年度からの取り組み

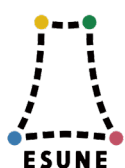
- 1 日本全体で兼業できる土壌づくりに向け、引き続き全国の地域パートナーと連携を進める。また、パートナーに対する定期的な面談やハンズオン支援を始め、ふるさと兼業全体のコーディネート の質向上に取り組む。
- 2 新型コロナウイルスが拡大する中、経済的な影響を受けた企業や人材の支援をふるさと兼業のプラットフォームを活用して実施する。
- 3 大手企業と連携した協働プログラムの運用を本格的にスタート。東海地域を起点に、ふるさと兼業の持つノウハウを活用した研修プログラムや地域支援プログラムを実施する。

2019年度 連携機関

● 全国連携／ふるさと兼業



生きるように働く人の仕事探し
日本仕事百貨



2019年度(2019年6月~2020年5月)の実績

● 地域連携／大学連携



- 金融機関 | 岐阜信用金庫 / 百五銀行 / 飛騨信用組合
- 企業 | 株式会社仕事旅行社 / 一般社団法人地域・人材共創機構 / 一般社団法人 RCF
- 大学 | 名古屋産業大学 / 名古屋学院大学 / 名古屋商科大学 等
- 行政 | 中部経済産業局 / 岩倉市役所 / 豊明市役所 / 美濃加茂市役所 / 飛騨市役所 等

※事業連携や協定締結パートナー、事業受託実績のある団体 (一部抜粋)

Partner Message

恩田聖敬氏 株式会社まんまる笑店 代表取締役社長



G-net様とのお付き合いは2014年、まだ私がFC岐阜の社長在任中にインターン生を送って頂いたのが始まりでした。その後ALS(筋萎縮性側索硬化症)の進行によりFC岐阜社長退任を余儀なくされ途方に暮れていた私を、次の道へ導いてくれたのは当時G-netを率いていた秋元さんでした。秋元さんのお力添えによってクラウドファンディングで創業資金を募り、2016年に株式会社まんまる笑店を設立し「ALS社長」となりました。ALSでも自分らしく生きられる!をモットーに岐阜県を拠点に全国で講演・執筆活動をしています。弊社が2019年10月に協賛パートナーを募集した時に真っ先に手を挙げてくださったのが、秋元さんからバトンを受けた南田さん率いる新生G-netでした。御社とは岐阜県や育成というキーワードで繋がっており、今後も一緒に何かしら仕掛けて行きたいです。よろしく願い致します。

古屋星斗氏 リクルートワークス研究所 研究員 / 一般社団法人スクール・トゥ・ワーク 代表理事



課題山盛りの21世紀の日本を、地方発イノベーションで盛り上げられるのはG-netさんしかない!いつもそんな気持ちにさせてくださいます。大きな社会的テーマとなりつつある、「地方の素晴らしい中小企業さんでの副業」についてもいち早く実践されてきました。その中で世間よりも一歩先、二歩先の課題を見つけ、そして誰よりも早くその課題に取り組まれていることに感銘を受けました。関わる人全てに、新しいアクションを提示してくれるチーム、それがG-netさんだと思っています。そして何より、「岐阜発」というのが素晴らしい!岐阜は周の文王が「岐山」から発った故事から、織田信長が名付けた土地です。そんな「岐阜」から、G-netから、新たな何かが飛び立つだろうと確信しています(岐阜県多治見市出身の古屋より)。

石井重成氏 一般社団法人地域・人材共創機構 代表理事



G-netとの出会いは4年前。地域内外のリソースマネジメントに取り組む行政・中間支援団体が集い、ローカルキャリアと新しい社会を探索するCAREER FORプロジェクトをとともに推進してきました。思いを言葉に、言葉を行動に。という確固たる「理念」、ふるさと兼業や、つながるキャンパスをはじめとする技巧に富んだ「制度」、多様な人材や地域の経営者と積み重ねてきた現場の「運動」という3つが融和するG-netのありようにはいつも刺激を受けます。今後も尊敬する同志として、持続可能な地域社会と一緒に探求していきたいと思えます。

今井紀明氏 認定NPO法人D×P 理事長



G-netさんには私たちが関わる不登校や高校中退している高校生たちが何人もお世話になっています。D×Pではユキサキチャットという進学・就職相談をラインでしていますが、愛知県や岐阜の高校生も多く、企業見学やイベントで様々な大人と出会う機会をG-netさんに提供していただいています。そこから働く意味を考えたり、普段出会うことがない大人と話すことで将来を考える幅を広げさせてもらっていると実感しています。高卒就職は慣習で縛られていますが、G-netさんが高校生の就職先や企業インターンなど受け入れる企業さんを開拓して地域の若年層のハブになっていくことを期待しています。これからも宜しくお願いします!

土井雄介氏 一般社団法人ONE X 共同代表理事



東海地域で異彩を放つG-netの皆様と「ふるさと兼業」を中心として一年間、様々な局面で一緒にさせて頂きました。私が南田さんにお会いした頃はまだ「副業・兼業」などの「越境活動」がまだまだ世の中に浸透していない2017年9月のイベントでした。そこから世の中は大きく変わり、今では私の所属する大手自動車メーカーも、G-netさんとプロボノ推進を実施するほど「越境」が当たり前な世の中になってきました。個人としても今では私を始め、多くの大企業社員が組織を超えて価値を発揮するようになってきています。この社会の変革の中心でこれからも挑戦し続けられるように、越境を通して変わり続ける個人・組織を増やし続けられるように、これからもぜひG-netの皆様と変革を担い続けられればと思います。一緒に世界を、もっともっとワクワクする世界へと変えていきましょう!

平田麻莉氏 一般社団法人プロフェッショナル & パラレルキャリア・フリーランス協会 代表理事



G-netさんとのご縁は新公益連盟合宿のグループワークで南田さんと一緒になったことがきっかけでした。南田さんは柔らかい物腰とシャープな聡明さを兼ね備えた、私が心から尊敬・信頼しているソーシャルリーダーです。(秋元さんの後継者発掘・育成力もすごいなあ)ふるさと兼業では、登録者向けにフリーランス協会のベネフィットプランを提供してくださっているほか、複業人材の一括問合せサービス「求人ステーション」にも参加して頂いています。ふるさと兼業が満足度の高い複業人材の活用事例をたくさん生み出している背景には、登録者と企業の間を取り持つきめ細やかな伴走支援の手間を決して惜しまないG-netさんのこだわりがあるのだと感じます。

G-netスタッフの皆さんも気持ち良い方ばかりで、山田さんはフリーランス協会の東海HUBを盛り立ててくれています。これからも様々な形で一緒にさせて頂くのが楽しみです!

2019年度会計報告 (2019年6月1日～2020年5月31日)

総括

2019年度は収益が83,065千円で、前年度比103%増、支出が84,376千円、前年度比104%増、正味財産増減額は-1,310千円でした。引き続き、プロボノ・兼業支援事業に投資をした1年でした。中小企業庁の補助事業にて、各地での兼業事例を生み出す事業を実施し、2020年度への事業加速となるよう努めました。収益の内訳は、自主事業収益が全収益の49.3% (前年度比91%)、行政受託収益が37.3% (前年度比98%)、補助・助成金収益が12.7% (前年度比264%)でした。

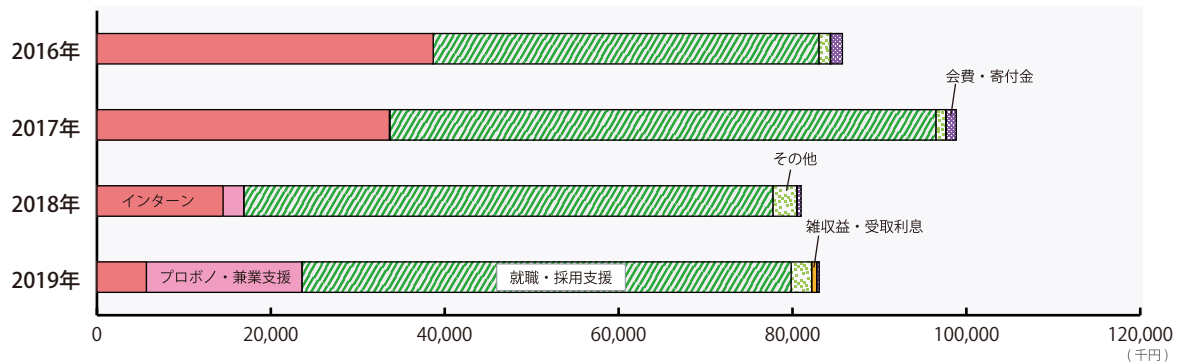
収支推移

| | (前年比) | 2019年 | 2018年 | 2017年 | 2016年 |
|---------|-------|------------|------------|------------|------------|
| 収益 | 103% | 83,065,894 | 80,981,034 | 98,459,819 | 85,741,493 |
| 支出 | 104% | 84,376,498 | 80,752,827 | 83,841,107 | 81,188,763 |
| 正味財産増減額 | -574% | -1,310,604 | 228,207 | 14,618,712 | 4,552,730 |

収益種類

| | (前年比) | 2019年 | (全体に占める割合) | 2018年 | 2017年 | 2016年 |
|-------|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 自主財源 | 91% | 40,920,224 | 49.3% | 45,186,544 | 56,591,503 | 42,151,016 |
| 行政受託 | 98% | 31,016,749 | 37.3% | 31,790,799 | 35,863,089 | 43,589,353 |
| 補助・助成 | 264% | 10,558,519 | 12.7% | 4,000,000 | 6,000,000 | 0 |
| その他 | 15,454% | 570,402 | 0.7% | 3,691 | 5,227 | 1,124 |

全体・事業別収益の推移



| | 2019年 | 2018年 | 2017年 | 2016年 |
|-------------|------------|------------|------------|------------|
| ■ インターンシップ | 5,685,969 | 14,508,693 | 33,630,483 | 38,678,962 |
| ■ プロボノ・兼業支援 | 17,881,091 | 2,374,884 | 0 | 0 |
| ■ 創業支援・中間支援 | 0 | 0 | 64,815 | 0 |
| ■ 就職・採用支援 | 56,278,233 | 60,860,743 | 62,796,238 | 44,353,903 |
| ■ その他 | 2,366,955 | 2,745,902 | 775,741 | 1,335,044 |
| ■ 雑収益・受取利息 | 570,402 | 423 | 373 | 1,124 |
| ■ 会費・寄付金 | 283,244 | 490,389 | 1,192,169 | 1,372,460 |

2019年度 活動計算書

| 科目 | 金額 (円) |
|----------------|------------|
| I 経常収益 | |
| 1. 受取会費 | 3,393,000 |
| 2. 受取寄付金 | 311,066 |
| 3. 受取助成金等 | 10,558,519 |
| 4. 事業収益 | 68,232,907 |
| 5. その他収益 | 570,402 |
| 経常収益計 | 83,065,894 |
| II 経常費用 | |
| 1. 事業費 | 83,567,526 |
| 2. 管理費 | 808,972 |
| 経常費用計 | 84,376,498 |
| 当期正味財産増減額 | -1,310,604 |

2019年度 貸借対照表

| 科目 | 金額 (円) |
|-------------------|------------|
| I 経常収益 | |
| 1. 流動資産 | 35,980,972 |
| 2. 固定資産 | 967,561 |
| 資産合計 | 36,948,533 |
| II 負債の部 | |
| 1. 流動負債 | 7,744,786 |
| 2. 固定負債 | 3,761,680 |
| 負債合計 | 11,506,466 |
| III 正味財産の部 | |
| 正味財産合計 | 25,442,067 |
| 負債及び正味財産合計 | 36,948,533 |

Alumni Message

石、転がり始めるスタート地点

石早速 | 長期 19 期 G-net

個性を引っ張り背中を押し続けてくれる存在

鈴木可奈 飛騨五木 森ワクマーケット担当 | 長期 23 期 株式会社リバーシブル

迷いながら踏み出した一歩

背中を強く押し続けてくれる存在

祖父江光祐 | 中期 8 期 ひとひとの会

岐阜の魅力とものづくりのおもしろさ、

自分の人生の楽しさに出会えた場所。

佐藤七海 大橋量器 | 長期 22 期 山田木管工業所

人生のストッパーを外す手段

伊藤早紀 株式会社 Parasol Forky 編集長 |
長期 13 期 マイルポスト / 中期 3 期 ひとひとの会

自分のホンキさに気づくスタートライン

谷合俊明 株式会社 Kitamura Japan/NPO法人メイドインジャパン・プロジェクト専務理事
長期 10 期 ゴッターライド / 長期 13 期 Kitamura Japan

スタートの“点”が打たれた場所。

そこからたくさんの点と線が結ばれ、

今でも生き方の“道しるべ”となっています。

松尾早希子 武雄市役所 | 長期 10 期 石本果樹園

自分の人生を切り開いた一歩!!

平野佑果 三菱 UFJ 銀行 | 長期 10 期 山川醸造

将来に対する漠然とした不安を解消できる場所、

そして高校の保健室のように終わった後でも

ふらっと立ち寄れる場所

新井宏典 | 長期 21 期 ユニオン電子工業

人生のボーナスステージ

羽田知弘 株式会社西粟倉・森の学校 | 長期 12 期 G-net

全てのご縁のはじまり。

そして人生を大きく変えた出会い。

下川あず | 中期 4 期 yaotomi

新たな選択肢を教えてくれて、

諦めることを諦めさせてくれた場所

高橋良太 ひだまりほーむ | 長期 27 期 G-net

自分のことを見つめ直せる場所

清水彩 タナック | 長期 17 期 三州野安

自分の無能さを痛感した。

だからこそ多くのことが吸収出来て、

多くの尊敬できる人が出来た

光岡彩加 東愛知日産自動車 | 長期 22 期 助六

今も、これからも、変わらぬ原点

高橋義孝 (みりん) 名古屋医健スポーツ専門学校 | 長期 15 期 杉浦味淋

ホンキ系とは社会の窓!

浅野恭平 | 長期 16 期 岐阜美少女図鑑

師匠兼ダチ(南田さん)との出会い

早川昇吾 エムスリーキャリア株式会社 | 長期 12 期 G-net

大学での知識をすぐ実践でき、

これだと思う仕事が見つかった場所

伊藤祐子 ケアプロ株式会社 | 長期 16 期 山川醸造

社会への扉、志をもらう場所。

投げ出したくなる時に踏みとどまれる火種

酒井智代 株式会社 LITALICO | 長期 13 期 大橋量器

自分と向き合って、今の自分の最大限の力と

自分の可能性を確かめて発見する機会

櫻井亜美 | 長期 21 期 山川醸造

ご支援のお願い

G-net サポーターとして、チャレンジを支えていただけますよう、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

● 継続寄付

- 1) コロナ禍の高校生・大学生救済応援寄付 1,000 円 / 月
- 2) G-net チャレンジサポート賛助会員

個人会員 …… 1,000 円~/月 12,000 円~/年
法人会員 …… 5,000 円~/月 60,000 円~/年

● 単発寄付

- 1) コロナ禍の高校生・大学生救済応援寄付 1,000 円 / 口
- 2) G-net チャレンジ応援寄付 3,000 円 / 口
- 3) ビーンズファンド 3,000 円 / 口

● 協働サポーター

『つながるキャンパス』の協働サポーター参画 1,000 円 / 月

● ご支援方法

こちらよりお申込みください。

クレジットカード決済対応
web site >>

<https://kessai.canpan.info/org/gnet/>

銀行振込の場合はこちら
Google form >>

年間一括 銀行振込
銀行名 十六銀行
支店名 柳ヶ瀬支店
口座番号 普通 1550777
口座名 トクヒ) ジーネット